

品質管理検定レベル表

◆受検されるみなさまへ — レベル表の見方について◆

- ・1級/準1級の場合、1級/準1級に加えて2級-4級の範囲を含んだものが1級/準1級の試験範囲とお考えください。

※凡例 — 必要に応じて、次の記号で補足する内容・種類を区別します。
 () : 注釈や追記事項を記しています。
 《 》 : 具体的な例を示しています。例としてこの限りではありません。
 【 】 : その項目の出題レベルの程度や範囲を記しています。

級	認定する知識と能力のレベル	対象となる人材像	試験範囲	
			品質管理の実践	品質管理の手法
1級・準1級	<p>組織内で発生するさまざまな問題に対して、品質管理の側面からどのようにすれば解決や改善ができるかを把握しており、それらを自分で主導していくことが期待されるレベルです。また、自分自身で解決できないようなかなり専門的な問題については、少なくともどのような手法を使えばよいのかという解決に向けた筋道を立てることができる力を有しているようなレベルです。</p> <p>組織内で品質管理活動のリーダーとなる可能性のある人に最低限要求される知識を有し、その活用の仕方を理解しているレベルです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部門横断の品質問題解決をリードできるスタッフ ・品質問題解決の指導的立場の品質技術者 	<ul style="list-style-type: none"> ■品質の概念 <ul style="list-style-type: none"> ・社会的品質 ・顧客満足(CS), 顧客価値 ■品質保証：新製品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・結果の保証とプロセスによる保証 ・保証と補償 ・品質保証体系図 ・品質機能展開 ・DRとトラブル予測, FMEA, FTA ・品質保証のプロセス, 保証の網(QAネットワーク) ・製品ライフサイクル全体での品質保証 ・製品安全, 環境配慮, 製造物責任 ・初期流動管理 ・市場トラブル対応, 苦情とその処理 ■品質保証：プロセス保証 <ul style="list-style-type: none"> ・作業標準書 ・プロセス(工程)の考え方 ・QC工程図, フローチャート ・工程異常の考え方とその発見・処置 ・工程能力調査, 工程解析 ・変更管理, 変化点管理 ・検査の目的・意義・考え方(適合, 不適合) ・検査の種類と方法 ・計測の基本 ・計測の管理 ・測定誤差の評価 ・官能検査, 感性品質 ■品質経営の要素：方針管理 <ul style="list-style-type: none"> ・方針の展開とすり合せ ・方針管理のしくみとその運用 ・方針の達成度評価と反省 ■品質経営の要素：機能別管理【定義と基本的な考え方】 <ul style="list-style-type: none"> ・マトリックス管理 ・クロスファンクショナルチーム(CFT) ・機能別委員会 ・機能別の責任と権限 ■品質経営の要素：日常管理 <ul style="list-style-type: none"> ・変化点とその管理 ■品質経営の要素：標準化 <ul style="list-style-type: none"> ・標準化の目的・意義・考え方 ・社内標準化とその進め方 ・産業標準化, 国際標準化 ■品質経営の要素：人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・品質教育とその体系 ■品質経営の要素：診断・監査 <ul style="list-style-type: none"> ・品質監査 ・トップ診断 ■品質経営の要素：品質マネジメントシステム <ul style="list-style-type: none"> ・品質マネジメントの原則 ・ISO9001 ・第三者認証制度【定義と基本的な考え方】 ・品質マネジメントシステムの運用 ■倫理・社会的責任【定義と基本的な考え方】 <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理に携わる人の倫理 ・社会的責任 ■品質管理周辺の実践活動 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング, 顧客関係性管理 ・データマイニング・テキストマイニングなど【言葉として】 	<ul style="list-style-type: none"> ■データの取り方とまとめ方 <ul style="list-style-type: none"> ・有限母集団からのサンプリング《超幾何分布》 ■新QC七つ道具 <ul style="list-style-type: none"> ・アローダイアグラム法 ・PDPC法 ・マトリックス・データ解析法 ■統計的方法の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・一様分布(確率計算を含む) ・指数分布(確率計算を含む) ・二次元分布(確率計算を含む) ・共分散 ・大数の法則と中心極限定理 ■計量値データに基づく検定と推定 <ul style="list-style-type: none"> ・3つ以上の母分散に関する検定 ■計数値データに基づく検定と推定 <ul style="list-style-type: none"> ・適合度の検定 ■管理図 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアン管理図 ■工程能力指数 <ul style="list-style-type: none"> ・工程能力指数の区間推定 ■抜取検査 <ul style="list-style-type: none"> ・計数選別型抜取検査 ・調整型抜取検査 ■実験計画法 <ul style="list-style-type: none"> ・多元配置実験 ・乱塊法 ・分割法 ・枝分かれ実験 ・直交表実験《多水準法, 擬水準法, 分割法》 ・応答曲面法, 直交多項式【定義と基本的な考え方】 ■ノンパラメトリック法【定義と基本的な考え方】 ■感性品質と官能評価手法【定義と基本的な考え方】 ■相関分析 <ul style="list-style-type: none"> ・母相関係数の検定と推定 ■単回帰分析 <ul style="list-style-type: none"> ・回帰母数に関する検定と推定 ・回帰診断 ・繰り返しのある場合の単回帰分析 ■重回帰分析 <ul style="list-style-type: none"> ・重回帰式の推定 ・分散分析 ・回帰母数に関する検定と推定 ・回帰診断 ・変数選択 ・さまざまな回帰式 ■多変量解析法 <ul style="list-style-type: none"> ・判別分析 ・主成分分析 ・クラスター分析【定義と基本的な考え方】 ・数量化理論【定義と基本的な考え方】 ■信頼性工学 <ul style="list-style-type: none"> ・耐久性, 保全性, 設計信頼性 ・信頼性データのまとめ方と解析 ■ロバストパラメータ設計 <ul style="list-style-type: none"> ・パラメータ設計の考え方 ・静特性のパラメータ設計 ・動特性のパラメータ設計